

## 家庭用燃料電池「エネファーム」を活用した バーチャルパワープラント実証の概要

### 1. 実証名称

家庭用燃料電池「エネファーム」を活用したバーチャルパワープラント実証

### 2. 実証期間

2020年5月29日～2021年2月17日（予定）

### 3. 実施者

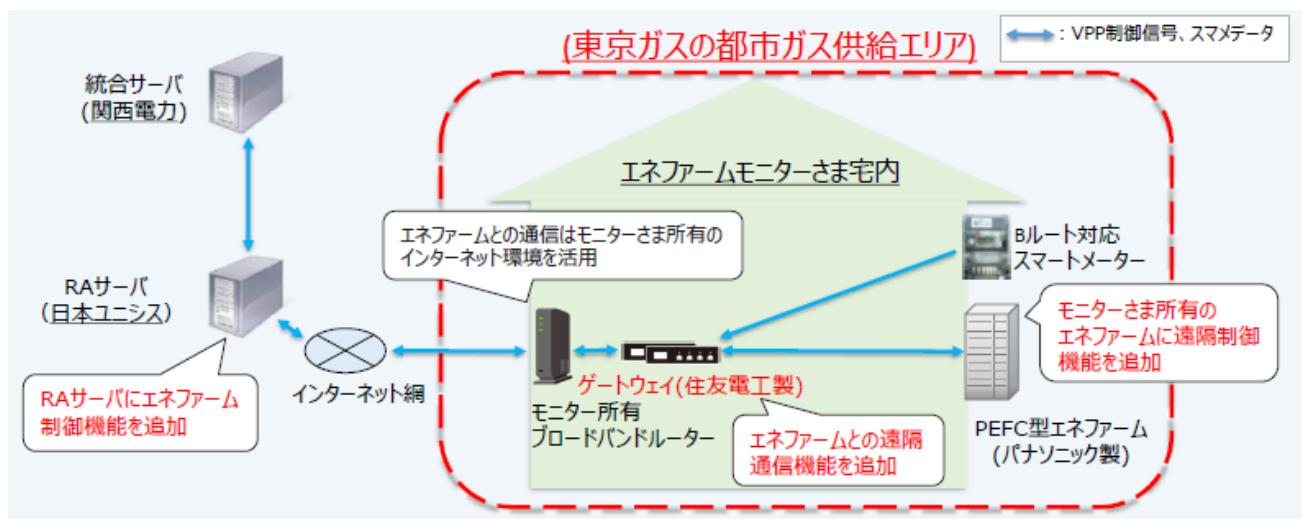
関西電力株式会社、日本ユニシス株式会社、住友電気工業株式会社、  
パナソニック株式会社、東京ガス株式会社

### 4. 実証内容

#### (1) エネファームを遠隔制御するためのシステム構築

過年度のVPP構築実証事業において、日本ユニシスが構築したRA<sup>※1</sup>サーバや住友電気工業製ゲートウェイに、エネファームとの遠隔通信機能を追加実装し、さらにエネファーム本体には遠隔制御機能を追加することで、実証環境を構築します。

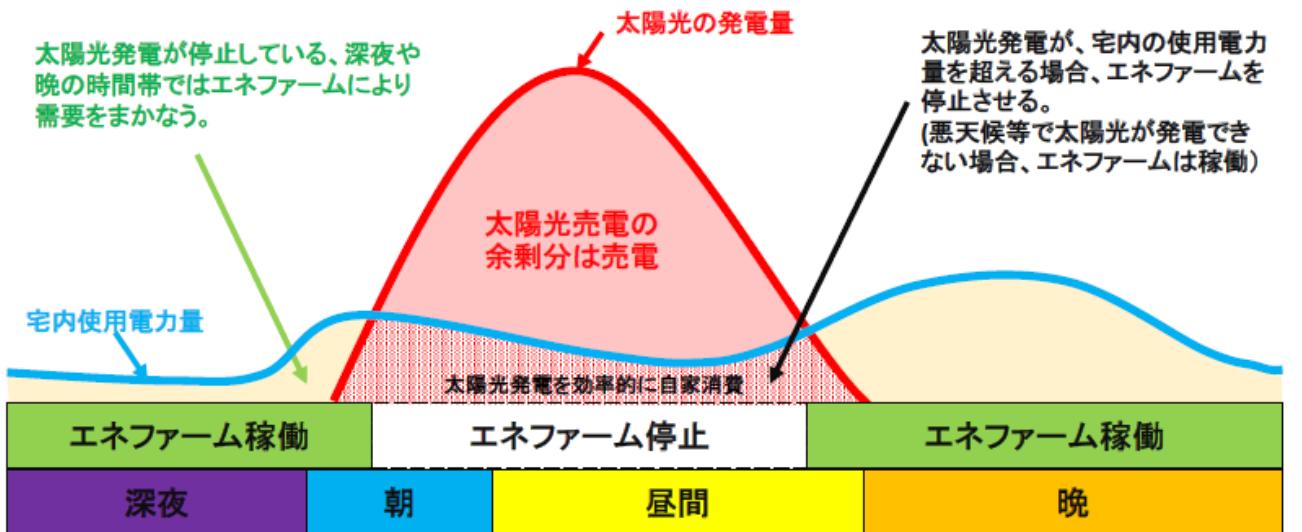
<本実証システムのイメージ図>



#### (2) 自家消費実証およびD R<sup>※2</sup>指令に基づいた制御実証の実施

太陽光発電設備の発電量および家庭内需要の実績・予測に基づき、最適なエネルギー・マネジメントに向けてエネファームを制御する自家消費実証を行います。さらに、電力取引等を想定したD R指令に基づいた制御実証を行い、エネファームのVPPリソースとしてのポテンシャル評価や技術的知見の獲得を目指します。

<自家消費実証のイメージ図>



以 上

※1 リソースアグリゲーターの略。需要家とVPPサービス契約を直接締結して需要家側エネルギー資源や分散型エネルギー資源を統合制御し、VPPやDRからエネルギーサービスを提供する事業者のこと。

※2 ディマンドリスポンスの略。お客様のエネルギー資源を制御することで、電力需要パターンを変化させること。